みんなの文芸

引間豊作選　投稿数19句

新緑の彩る裾や富士晴るる　皆野　関根　助市

㈹富士山は、山梨・静岡両県にまたがる富士火山帯の主峰で、標高三七七六メートル。古くから信仰登山の山である。現存する日本最古の歌集『万葉集』に、山部宿禰赤人の「田子の浦ゆうち出でてみれば白にそ富士の高嶺に雪は降りける」という反歌がある。また「富士には月見草がよく似合う」は、太宰治の『富嶽百景』にある一節で、よく耳にする言葉である。富士山を詠んだ俳句も多数あるが、それほど知られている句はないように思う。そこが日本人の心の故郷であるが故のことか。

散策の青葉の風に深呼吸　下日野沢　引間富美子

堂縁に日差こぼせり栃若葉　皆野　根岸　詩子

ふるさとや新緑の山やさしかる　皆野　引間　千鶴

登校の列へ揺れ合うポピー畑　三沢　真下　杏子

青葉風むかいて子らの笑い声　皆野　太幡真由美

遠ざかる山鳩の声蕗を採る　三沢　新井　民子

新調の制服眩し更衣　皆野　大沼シヅ子

遠くより呼ばるるがごと春の雷　下日野沢　江野　鎰子

鳶尾草や心捉える通り雨　三沢　新井　弘延

一面にさざ波立てて蕎麦の花　三沢　鈴木　貞恵

うぐいすを誉めてふたたびききほれる　皆野　保科　従道

蕗味噌や思えばつらきこと多き　金崎　堀口　輝吉

中田久恵選　投稿数16首

緑蔭を求めわけ入る山道に夭折の子の足音を聞く　三沢　長谷河ソノ

㈹この短歌は高校生の時に亡くなられたお子様の事と聞いている。何年経ても一日も忘れられない胸の内を「夭折の子の足音を聞く」その言葉に母の叫びが胸をしめ付ける悲しい秀歌である。ここに長沢美津の短歌を一首「速やかに時がたつなり逝きし子の声かと思ふそら耳ばかり」豊田さん「惜春の風に彼は在り」この言葉がこの短歌の命である。新井愛子さん世界一と云われるスカイツリー、日本の技術の粋を集めて作られたこれぞ日本の誇りである。またこれを三十一文字に表現なさった愛子さんに喝采。

吹き渡る惜春の風に彼は在り七七日は厳かに過ぐ　皆野　豊田喜美恵

絶世のスカイツリーは極まりて最新技術に未来逞し　皆野　新井　愛子

入園児見かねいたわる年長の子の優しさに母の微笑む　皆野　関根　助市

ほととぎす若葉の中に初音聞く今日は命日父の偲ばる　下日野沢　浅見　豊子

新緑の季節待たれて同窓の友垣集う八十路楽しく　皆野　根岸　詩子

七七忌修す人らに応うるか遠く聞こゆる山ほととぎす　三沢　眞下　杏子

団塊の世代を生きし吾も歳ぞ水掻き分けつプールを歩む　三沢　新井　民子

寛ろぎつ居間よりのぞむ借景は日々移ろひて息吹あたらし　三沢　新井　叶子

三・一一あの日の事は忘れんと誓いし心日々薄れゆく　三沢　鈴木　貞恵

白じろと霞たなびく岩畳眼下に瀞の流れ青かる　皆野　市川　岳樹

あと一歩踏み出す勇気あったなら今の自分が今ここにあり　皆野　源氏　和幸

まばらなる牛眺めつつ牧過ぎて二本木峠のつつじたのしむ　三沢　長谷河光久

紫陽花はまだかまだかと山登る去年の色をも思い浮かべて　皆野　保科　従道

娘の家の庭に手貸すや球根を堀り上げしあと大豆の種子蒔く　皆野　引間　万亀

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して総務課へお寄せください。

8日必着

1人1句、1首に限ります。

災害時における物資の輸送に関する協定締結

6月11日㈪、埼玉県トラック協会秩父支部と皆野町において、災害時における物資の輸送に関する協定を締結しました。災害が発生した際、物資の緊急輸送を迅速かつ円滑に行います。

1歳のお誕生日おめでとう

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに総務課窓口（写真をご持参ください）または、町ホームページからお申し込みください。

問合せ　総務課企画政策防災担当　☎62-1231

璃人（りと）くん

下大浜区
黒澤　健一さん
　　由花さん

元気いっぱいのリトくん☆
優しい男の子に育ってね☆